国指定池間鳥獣保護区計画書 【変更(保護の指針の変更)】

平成23年11月1日 環境省

- 1. 国指定鳥獣保護区の概要
- (1)国指定鳥獣保護区の名称 池間鳥獣保護区
- (2) 国指定鳥獣保護区の区域沖縄県宮古島市平良所在の池間島全域
- (3) 国指定鳥獣保護区の存続期間平成23年11月1日から20年間
- 2. 国指定鳥獣保護区の保護に関する指針
- (1)国指定鳥獣保護区の指定区分 集団渡来地の保護区
- (2) 国指定鳥獣保護区の指定目的

当該区域は、南西諸島西部にある宮古島の北に位置し、宮古島北端の宮古島市平良狩俣から池間大橋でつながった池間島全域である。

島中心部には県内最大であり、数少ない淡水性の湿原である池間湿原を有しており、ヒメガマ、チガヤ等の植物群落が広がっている。また、宮古島は渡り鳥の主要ルートとなる沖縄島と石垣島の中間に位置していることから、渡り鳥にとっては地理上重要な中継地となっている。

このような自然環境を反映して、当該区域では、渡り鳥のカモ類やサギ類を始めとした多くの鳥類が採餌や休息の場として利用しており、環境省が作成したレッドリストに掲載されている絶滅危惧 I B類のクロツラヘラサギ、絶滅危惧 II 類のサシバ等の希少な鳥類やマガン、オオハクチョウ、ツクシガモ等の様々な迷鳥の飛来も確認されている。また、当該区域はムラサキサギや絶滅危惧 I B類のオオクイナの繁殖地の北限となっている。

このように、当該区域はこれら多様な鳥類の採餌、休息及び繁殖の場として利用されていることから、集団渡来地の保護区として、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(平成14年法律第88号)第28条第1項に規定する鳥獣保護区に指定し、当該区域に生息する鳥獣の保護を図るものである。

(3) 管理方針

- 1) 鳥獣のモニタリング調査を通じて、当該区域内の鳥獣の生息状況の把握に努める。
- 2) 鳥獣の生息環境を脅かすような人の不用意な行為、ごみの散乱等による鳥類の生息への影響を防止するため、現場の巡視、関係地方公共団体、NPO、地域住民等と連携した普及啓発活動等に取り組む。
- 3)近年、腐植土の堆積、水草・外来植物の繁茂等により湿原における開放水面の減少と陸地化が進行しているほか、渡り鳥の採餌・休息・繁殖に適した環境が失われ

ていることから、土砂の浚渫等、渡り鳥の生息環境の保全・改善のために必要な対策を行う。

4)保全事業後は関係地方公共団体等と連携し、適切に管理を行う。

(4) 保全事業の目標

渡り鳥のカモ類やサギ類を始めとした多くの鳥類の集団渡来地としての生息環境の 保全及び改善を図るため、腐植土の堆積や水草・外来植物の繁茂等による湿原環境の 劣化を防ぐことにより、渡り鳥の採餌・休息・繁殖に適した環境を回復させる。

(5) 保全事業の対象区域

池間鳥獣保護区の全域

(6) 保全事業の内容

腐植土の浚渫及び流入防止工事等により渡り鳥の採餌・休息・繁殖に適した水面及 び周辺の生息環境整備を行う。また、整備後は生息環境の回復状況や渡り鳥の飛来状 況についてモニタリングを実施する。

(7)環境変化の概要

池間湿原がある場所はもともと海とつながっていたが、昭和初期に堤防が作られ汽水の沼地となり、その後、漁港工事により湾口が閉ざされ、淡水性の湿原となった。

抽水性水草の繁茂と腐植土の堆積等により湿原内の開放水面が減少しており、また、 陸地化が進行している。

(8) 鳥獣の生息状況の変化

開放水面の大幅な減少に伴い、カルガモやヒドリガモ、オナガガモなど水面採餌性 カモ類やサギ類の飛来が大幅に減少している。

3. 国指定鳥獣保護区の面積内訳 別表1のとおり

4. 当該区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該区域の概要

ア 国指定鳥獣保護区の位置

当該区域は、宮古島北端の宮古島市平良狩俣から池間大橋でつながった池間島全域である。池間島は馬蹄形の平坦な島であり、中心部には宮古諸島唯一の淡水の湿原である池間湿原を有している。池間湿原はかつて海水が流入する内湾であったが、漁港工事に伴い湾口が閉ざされた後、淡水化した。湿原周辺には、ヒメガマ、チガヤ、モクマオウ等の植物群落が広がり、シギ・チドリ類やサギ類を始めとした多くの鳥類が採餌及び休息並びに繁殖地として利用している。

イ 地形、地質等

池間島は、主に琉球石灰岩で構成された台地や段丘により形成された、平坦な地形を特徴としている。

当該区域の地形は丘陵地や台地、段丘で構成されており、島東部に丘陵地、中央部に干潟がある。また沿岸部では、北部に崖、東部に海浜や板干礁があり、南部は低地となっている。

地質については、当該区域の大部分が第四紀琉球石灰岩で構成されており、一部に 海浜堆積物や第四紀沖積物が混在している。なお、土壌としては島全域が主に島尻マ ージと呼ばれる弱酸性〜弱アルカリ性の赤・黄色土壌で構成されている。

ウ 植物相の概要

池間島は主に畑地・雑草群落とギンネム林が混在しており、一部にモクマオウやリュウキュウマツ群落を有している。また、島北部にタブ群落、南部にガジュマルークロヨナ群集やヨシクラスがあり、沿岸部は、主にアダンーオオハマボウ群落で構成されている。また、池間湿原周辺には、ヒメガマ、チガヤ、モクマオウ等の植物群落が広がっている。

エ 動物相の概要

池間島でこれまで生息が確認されている鳥類は、コチドリ、イソシギ、セイタカシギなどのシギ・チドリ類、コサギ、ムラサキサギなどのサギ類をはじめ51科220種が確認されている。この中にはクロツラヘラサギ、キンバト、オオクイナなどの希少種も記録されている。

(2) 生息する鳥獣類

ア鳥類

別表2のとおり

- イ 獣類 別表3のとおり
- (3) 当該区域の農林水産物の被害状況なし
- 5. 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第32条の規定による補償に関する事項

当該区域において、法律第32条に規定する損失を受けた者に対しては、通常生ずべき 損失を補償する。

- 6. 施設整備に関する事項
- (1) 鳥獣保護区用制札 10本
- (2) 案内板 2基
- 7. 参考事項

当初指定

平成 23 年 11 月 1 日 (平成 23 年 10 月 24 日環境省告示第 93 号) 変更

平成 30 年 8 月 23 日 (平成 30 年 8 月 23 日環境省告示第 74 号)

別表1 国指定池間鳥獣保護区の面積内訳

◆形態別面積内訳

	7月2月2日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1									
		鳥獣保護区			特		特別保護指定区域			
		既存面積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既 存 面 積	拡大(縮小)面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大(縮小)後の面積
総	面積	282 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	林 野	84 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	 農耕地	105 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	 水 面	8 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
	その他	85 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha

▲所有別而藉内訳

◆所有別面積内訳	鳥獣保護区			特	特別保護地区				特別保護指定区域		
	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大 (縮小) 後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大 (縮小) 後の面積		
国有地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 国有林	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
林野庁所管	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 制限林	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
保安林	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
一砂防指定地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
└ その他	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 普通林	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
文部科学省所管	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 国有林以外の国有地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
環境省所管	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
地方公共団体有地	25 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
—都道府県有地	7 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
制限林地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 保安林	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
— 砂防指定地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
■ その他	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
普通林地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
└ その他	7 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 市町村有地等	18 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
制限林地	5 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 保安林	5 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
— 砂防指定地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- その他	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
─ 普通林地	3 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
─ その他	10 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
私有地等	249 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
— 制限林地	26 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
- 保安林	26 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
— 砂防指定地	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
□ その他	0 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
─ 普通林地	50 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
┗ その他	173 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
公有水面	8 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
計	282 ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		

◆他法令による規制区域

		鳥獣保護	玄	特		特別保護指定区域			
	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大 (縮小) 面積	拡大(縮小)後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	拡大 (縮小) 後の面積
自然環境保全法による地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
——特別地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
普通地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
自然公園法による地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
- 特別保護地区	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
— 特別地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
┗ 普通地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
文化財保護法による地域	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha

- (注)
 1. ヘクタール単位とし、原則として小数点以下を四捨五入する。
 2. 面積の精査により、数値の変更があった場合は、精査前の面積を既存面積の項に () 書きで上段に記載する。
 3. 「形態別内訳」の水面については、干潟の面積を内数で () 書きで記入する。
 4. 「所有者別内訳」の保安林については、森林法第25条第1項各号の目的別に面積を記載する。
 5. 「他の法令による規制区域」については、自然環境保全法に基づく指定地域(国指定自然環境保全地域及び都道府県指定自然環境保全地域)、自然公園法に基づく指定地域(国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園)、文化財保護法に基づき区域指定されている地域のいずれかに該当する場合に、それら規制区域ごとに名称と面積を記入する。

	科		種または亜種	種の指定等	備考
カモ	カモ		サカツラガン	DD	迷鳥
			ヒシクイ	VU	旅鳥・冬
			マガン	NΤ	迷鳥
			オオハクチョウ	****	迷鳥
			<u>ツクシガモ</u>	VU	迷鳥
			オシドリ	DD	旅鳥・冬
			オカヨシガモ ヨシガモ		旅鳥·冬 迷鳥
			ヒドリガモ		冬鳥
			マガモ		冬鳥
			アカノドカルガモ		迷鳥
			カルガモ		留鳥
			ハシビロガモ		冬鳥
			オナガガモ		冬鳥
			シマアジ		旅鳥
			コガモ ホシハジロ		冬鳥 迷鳥
			メジロガモ		迷鳥
			キンクロハジロ		冬鳥
			スズガモ		冬鳥
			ホオジロガモ		迷鳥
			ミコアイサ		迷鳥
カイツブリ	カイツブリ		カイツブリ		留鳥
			カンムリカイツブリ ミミカイツブリ		旅鳥・冬 迷鳥
ウェカノエーウ	ウェカノエーウ		<u>アカオネッタイチョウ</u>	EN	
ネッタイチョウ ハト	<u> </u>		<u> </u>	E N	迷鳥
ハト	N F	\bigcirc	<u>ョナクニカフスハト</u> キジバト	E N, 国内希少	留鳥 留鳥
		0	ベニバト		旅鳥
			キンバト	EN, 天然記念物, 国内希生	留鳥
			チュウダイズアカアオバト		留鳥
ミズナギドリ	ミズナギドリ		オオミズナギドリ		迷鳥
			オナガミズナギドリ		旅鳥
			ハイイロミズナギドリ		旅鳥
			ハシボソミズナギドリ アナドリ		旅鳥 旅鳥
	ウミツバメ		<u></u>	VU	迷鳥
	/ \ / / //		クロウミツバメ	ΝΤ	迷鳥
カツオドリ	グンカンドリ		オオグンカンドリ		旅鳥・冬
			コグンカンドリ		旅鳥・冬
	カツオドリ		アオツラカツオドリ	7.11	旅鳥・冬
			<u>アカアシカツオドリ</u> カツオドリ	ΕN	旅鳥・冬 旅鳥
カツオドリ	ウ		<u></u>		冬鳥
ペリカン	サギ		サンカノゴイ	ΕN	旅鳥・冬
	,		ヨシゴイ	NT	冬鳥
			<u>オオヨシゴイ</u>	C R	迷鳥
			リュウキュウョシゴイ		留鳥
			<u>ミゾゴイ</u> ヹゖ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヹヹ	VU	旅鳥
			<u>ズグロミゾゴイ</u> ゴイサギ	VU	留鳥 冬鳥
			コイザキササゴイ		冬馬 冬鳥
			ァッコイ アカガシラサギ		旅鳥
					旅鳥
			アマサギ		
		0	アオサギ		冬鳥
		_	アオサギ ムラサキサギ		冬鳥 留鳥
		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ		冬鳥 留鳥 冬鳥
		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ	NT	冬留冬冬鳥鳥鳥
		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ	NT	冬留冬冬冬
		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ	NT	冬留冬冬冬冬
		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ クロサギ		冬留冬冬冬冬冬
	卜牛	0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ クロサギ ヘラサギ	DD	終留冬冬冬冬冬 鳥鳥鳥鳥鳥鳥 旅
ツル		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ クロサギ ヘラサギ クロツラヘラサギ	D D E N	冬留冬冬冬冬 熊 旅
ツル	ツル	0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ クロサギ ヘラサギ クロツラヘラサギ ソデグロツル	DD EN 国際希少	冬留冬冬冬冬鳥旅迷鳥鳥鳥鳥冬鳥鳥鳥鳥鳥
ツル		0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ クロサギ ヘラサギ クロツラヘラサギ	DD EN 国際希少 EN	冬留冬冬冬冬 熊 旅
ツル	ツル	0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ コサギ クロサギ ヘラサギ クロツラヘラサギ ソデグロツル オオクイナ ハシナガクイナ(ミナミク	DD EN 国際希少 EN	冬留冬冬冬冬冬鳥 旅 迷留迷鳥鳥鳥鳥鳥 冬鳥 鳥鳥鳥 き
ツル	ツル	0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ つロサギ ヘラサギ クロツラへラサギ ソデグロツル オオクイナ ハシナガクイナ シロハラクイナ	DD EN 国際希少 EN	冬留冬冬冬冬冬鳥 旅 迷留迷鳥留鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥 冬鳥 鳥鳥鳥。
ツル	ツル	0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ つロサギ ヘラサギ クロツラへラサギ ソデグロツル オオクイナ ハシナガクイナ シロハラクイナ リュウキュウヒクイナ	DD EN 国際希少 EN	冬留冬冬冬冬冬鳥 旅 迷留迷鳥留留鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥
ツル	ツル	0	アオサギ ムラサキサギ ダイサギ チュウダイサギ チュウサギ つロサギ ヘラサギ クロツラへラサギ ソデグロツル オオクイナ ハシナガクイナ シロハラクイナ	DD EN 国際希少 EN	冬留冬冬冬冬冬鳥 旅 迷留迷鳥留鳥鳥鳥鳥鳥鳥鳥 冬鳥 鳥鳥鳥。

<u> </u>	科	種または亜種	種の指定等	備考
カッコウ	カッコウ	オニカッコウ		迷鳥
		ホトトギス		旅鳥
		ツツドリ		旅鳥
		カッコウ		旅鳥
アマツバメ	アマツバメ	ヒマラヤアマツバメ		迷鳥
		ハリオアマツバメ		旅鳥
		アマツバメ		旅鳥
		ヒメアマツバメ		旅鳥
チドリ	チドリ	タゲリ		旅鳥
		ケリ	DD	旅鳥・冬
		ムナグロ	22	冬鳥
		ダイゼン		冬鳥
		コチドリ		冬鳥
		シロチドリ	VU	留鳥・冬
		オオチドリ	v O	旅鳥
	トノカカンギ		X 7 T T	
	セイタカシギ	セイタカシギ	VU	旅鳥
	シギ	ヤマシギ		冬鳥
		タシギ		冬鳥
		オグロシギ		旅鳥
		チュウシャクシギ		旅鳥
		アカアシシギ	VU	旅鳥
		コアオアシシギ		旅鳥
		アオアシシギ		冬鳥
		クサシギ		冬鳥
		タカブシギ	VU	冬鳥
		<u>・</u> キアシシギ	, 0	冬鳥
		イソシギ		冬鳥
		キョウジョシギ		冬鳥
		ヒバリシギ		冬鳥
		ウズラシギ		水 旅鳥
			NT	旅鳥
	1000	ハマシギ	NT	
	レンカク	レンカク		旅鳥・冬
	ミフウズラ	ミフウズラ		留鳥
	ツバメチドリ	<u>ツバメチドリ</u>	VU	夏鳥
	カモメ	クロアジサシ		夏鳥
		<u>ズグロカモメ</u>	VU	旅鳥
		ウミネコ		冬鳥
		セグロカモメ		旅鳥・冬
		オオセグロカモメ		迷鳥
		<u>オオアジサシ</u>	VU	旅鳥
		コアジサシ	VÜ	夏鳥
		マミジロアジサシ	, 0	夏鳥
		ベニアジサシ	VU	夏鳥
		エリグロアジサシ	VÜ	夏鳥
		クロハラアジサシ	v O	10.4
		ハジロクロハラアジサシ		旅鳥 旅鳥
			NT	冬鳥
b h	ミサゴ	() > # - i		~ 局
タカ	ミサゴ	○ ミサゴ	111	
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ		迷鳥
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ チュウヒ	EN, 国内希少	迷鳥 旅鳥・冬
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ		迷鳥 旅鳥・冬 迷鳥
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ		迷鳥 旅鳥·冬 迷鳥 迷鳥
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ アカハラダカ		迷鳥 旅鳥・冬 迷鳥 迷鳥 旅鳥
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ アカハラダカ ツミ	EN, 国内希少	迷 鳥 迷 迷 迷 迷 族 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒 寒
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ アカハラダカ ツミ ハイタカ		雅・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ アカハラダカ ツミ	EN, 国内希少	涨 患迷迷旅冬 鳥
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ アカハラダカ ツミ ハイタカ オオタカ サシバ	EN,国内希少 NT	张
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ アカハラダカ ツミ ハイタカ オオタカ サシバ	E N, 国内希少 N T N T	旅 迷鳥 迷迷旅 冬鳥鳥鳥 水旅旅 旅旅 水旅旅
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ マカハラダカ ツミ ハイタカ オオタカ <u>サシバ</u> ノスリ	E N, 国内希少 N T N T	旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅 旅
タカ	<u>ミサゴ</u> タカ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイエチュウヒ マダラチュウヒ マカハラダカ ツミ ハイタカ オオタカ サシバ ノスリ オオノスリ	E N, 国内希少 N T N T	迷鳥迷迷旅冬鳥鳥鳥 旅迷鳥 迷迷旅冬鳥鳥鳥 旅迷
タカ	ミサゴ タカ フクロウ	トビ <u>チュウヒ</u> ハイイロチュウヒ マダラチュウヒ マカハラダカ ツミ ハイタカ オオタカ <u>サシバ</u> ノスリ	E N, 国内希少 N T N T	旅 迷鳥迷迷旅冬鳥鳥鳥 旅旅旅 旅旅旅 旅旅旅

サイチョウ	科 ヤツガシラ	種または <u>亜</u> 種 ヤツガシラ	種の指定等	備考 旅鳥
<u> </u>	<u>・ ヤンガンフ</u>			
	•	ヤマショウビン		迷鳥
		○ カワセミ 		旅鳥
	ブッポウソウ	ブッポウソウ	ΕN	旅鳥
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンポウ チゴハヤブサ		冬鳥 旅鳥
		ハヤブサ	VU, 国内希少	旅鳥・冬鳥
スズメ	サンショウクイ	<u></u>	V O, Br 14119	旅鳥
,	コウライウグイス	コウライウグイス		迷鳥
	オウチュウ	オウチュウ		迷鳥
	カササギドカナ	カンムリオウチュウ		迷 <u>鳥</u> 夏鳥
	<u>カササギヒタキ</u> モズ	<u>リュウキュウサンコウチョウ</u> モズ		
		シマアカモズ		夏鳥
		タカサゴモズ		迷鳥
	カラス	オオモズ		迷鳥
	カプス	コクマルガラス ミヤマガラス		迷鳥 迷鳥
	(○ リュウキュウハシブトガラス ヒメコウテンシ		留鳥
	ヒバリ	ヒメコウテンシ		迷鳥
		ヒバリ		旅鳥
	ツバメ	ショウドウツバメ ツバメ		旅鳥 旅鳥
		リュウキュウツバメ		留鳥
		コシアカツバメ		旅鳥
		<u> イワツバメ</u>		旅鳥・冬鳥
	<u>ヒヨドリ</u> ウグイス	○ リュウキュウヒヨドリ ウグイス		留鳥
	リクイム	ワクイス ヤブサメ		冬鳥 旅鳥
	ムシクイ	ムジセッカ		迷鳥
		キマユムシクイ		冬鳥
		コムシクイ		冬鳥
	メジロ (メボソムシクイ ○ リュウキュウメジロ		 冬鳥 留鳥
	センニュウ	シマセンニュウ		
		エゾセンニュウ		旅鳥
	ヨシキリ	オオヨシキリ		旅鳥・冬鳥
	セッカ	コヨシキリ セッカ		迷鳥 留鳥
	レンジャク	 ヒレンジャク		
	ムクドリ	ギンムクドリ		冬鳥
		ムクドリ		冬鳥
		シベリアムクドリ		迷鳥
		コムクドリ カラムクドリ		旅鳥 冬鳥
		バライロムクドリ		迷鳥
		ホシムクドリ		冬鳥
	ヒタキ	クロウタドリ		旅鳥・冬鳥
		マミチャジナイ シロハラ		旅鳥 冬鳥
		アカハラ		冬鳥
		ノドグロツグミ		迷鳥
		ツグミ		冬鳥
		ノゴマ ルリビタキ		旅鳥 旅鳥
		ジョウビタキ		冬鳥
		ノビタキ		旅鳥
	(〇 イソヒヨドリ		留鳥
		エゾビタキ		旅鳥
		サメビタキ コサメビタキ		旅鳥 旅鳥
		キビタキ		留鳥
		○ スズメ		留鳥
	セキレイ	ツメナガセキレイ		冬鳥
		キセキレイ ハクセキレイ		冬鳥 冬鳥
		ハクセキレイ マミジロタヒバリ		冬馬 冬鳥
		ヨーロッパビンズイ		迷鳥
		·		冬鳥
		ビンズイ		3,100
		ムネアカタヒバリ		冬鳥
	711	ムネアカタヒバリ タヒバリ		冬鳥 旅鳥
	アトリ	ムネアカタヒバリ		冬鳥

	目	科	種または亜種	種の指定等	備考
-		ホオジロ	シラガホオジロ		迷鳥
			ホオアカ		迷鳥
			コホオアカ		旅鳥
			カシラダカ		旅鳥 旅鳥
			ミヤマホオジロ		旅鳥
			<u>シマアオジ</u> シマノジコ	CR, 国内希少	旅鳥 迷鳥
			シマノジコ		迷鳥
			ズグロチャキンチョウ		迷鳥
			ノジコ	NΤ	迷鳥
			アオジ		旅鳥
			クロジ		旅鳥
			オオジュリン		迷鳥
合計	18目	51科	220種		•

(注)

- 1. データは鳥獣保護区管理員報告書等に拠る。 2. 鳥類の目・科・種(和名)及び配列は、日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会、2012年)に拠った。
- 3. 種の指定等の要件は次の通りである。

環境省レッドリスト(2017)

CR:絶滅危惧ⅠA類、 EN:絶滅危惧ⅠB類、 VU:絶滅危惧Ⅱ類、 NT:準絶滅危惧、 DD:情報不足

国内希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種 国際希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種

天然記念物:文化財保護法による天然記念物

- 4. ○印は当該区域において一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する

		科		種または亜種	種の指定等	備考
	コウモリ	オオコウモリ		ヤエヤマオオコウモリ		
•	モグラ	トガリネズミ		ジャコウネズミ		
•	ネズミ	ネズミ	\circ	クマネズミ		
	ネコ	イタチ		ニホンイタチ		外来
合計	4 目	4科		4種		•

- 1. データは鳥獣保護区管理員報告書等に拠る。
- 2. 鳥類の目・科・種 (和名) 及び配列は、日本鳥類目録改訂第7版 (日本鳥学会、2012年) に拠った。 3. 種の指定等の要件は次の通りである。

環境省レッドリスト(2017年)

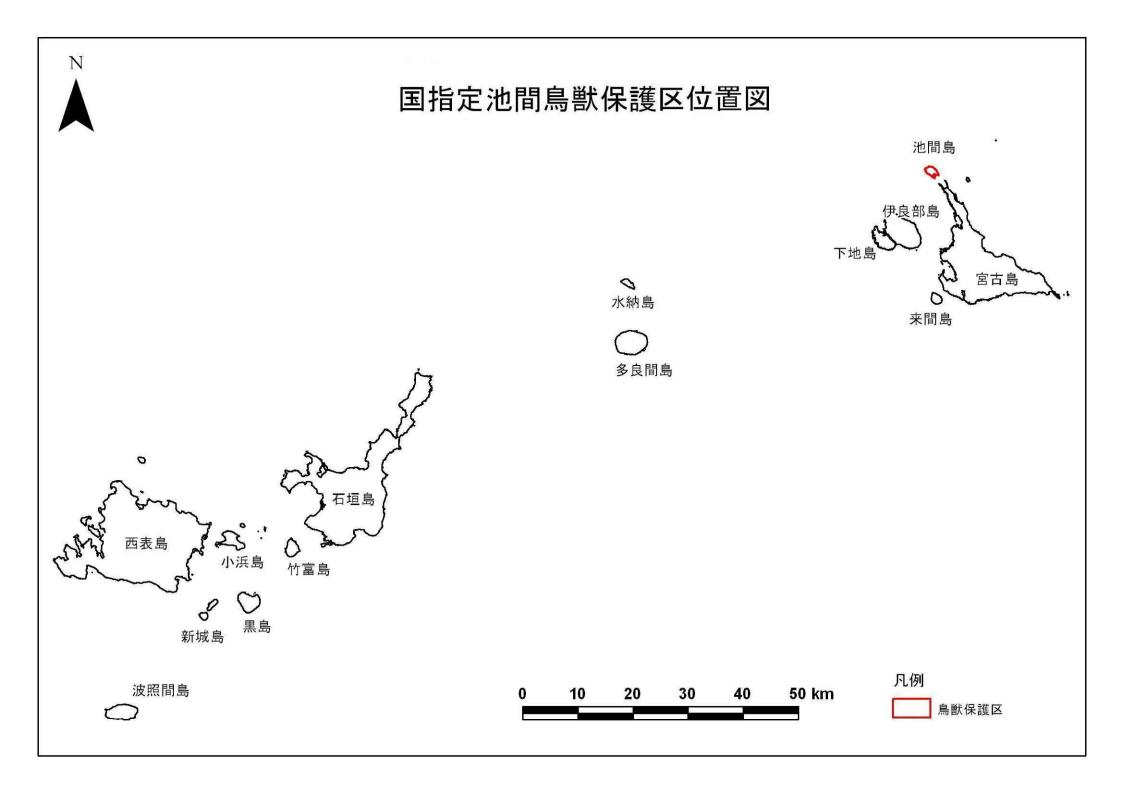
CR:絶滅危惧IA類、 EN:絶滅危惧IB類、 VU:絶滅危惧Ⅱ類、

NT: 準絶滅危惧、 DD: 情報不足

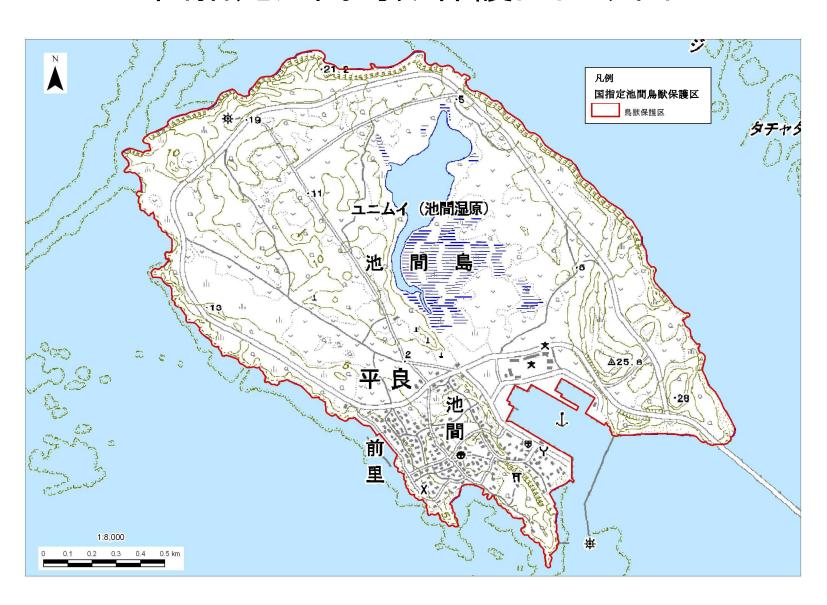
国内希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種 国際希少: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種

天然記念物:文化財保護法による天然記念物

4. ○印は当該区域において一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する 法律第2条第4項により特に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣及び天然記念物に指定された鳥獣。 5. 備考欄には、外来鳥獣については、外来と記載する。



国指定池間鳥獣保護区区域図



国指定池間鳥獣保護区区域説明図



